

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		保健体育推進団体参画事業				②事業番号		7625	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 22 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		④開始年度		昭和 22 年度		⑤終了予定年度	
⑦実施手法		直営		全部委託		○一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		6	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		目	
								2	
								細目	
								1	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

[1] 事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市体育協会	① 泉南市体育協会協会加盟団体数	団体
②	②	
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
毎年、大阪府総合体育大会(中央大会・地区大会)が開催され、様々な競技において市町村対抗で行われているが、この大会に出場する選手の派遣を泉南市体育協会に要請している。	① 泉南市からの参加種目数	種目
	②	
	③	
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
各競技を通して、参加者のスポーツ活動交流の場となる。	① 泉南市からの府総体競技参加者数	人
	②	
	③	
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
スポーツの基本理念に基づき、参加者の体力増進、健康維持向上に伴い参加選手がスポーツレクリエーション活動に親しめるようになる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

[2] 各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	泉南市体育協会協会加盟団体数	団体	18	18	18	17	17	
対象指標②								
活動指標①	泉南市からの参加種目数	種目	9	9	8	9	9	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	泉南市からの府総体競技参加者数	人	207	233	212	230	230	
成果指標②								—
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.05	0.05	0.14	0.14		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費(投入人員*単価)	千円	402	0	1,135	1,135	
直接事業費		千円	700	700	697	679		
	総事業費	千円	1,102	700	1,832	1,814		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,102	700	1,832	1,814		

[3] 事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	スポーツ競技を通して技術向上を感じてもらい、体力の増進・健康維持向上に貢献する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	スポーツを行うことで健康になりたいという要望は若年層から高齢者まで一層高まっていくと思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	大会を通じて、スポーツレクリエーション活動に親しめるようになる。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	大阪府主催の総合体育大会であり、府内の市町村が参加しているため、市が参加する必要あり。但し、コスト削減、大会のノウハウを持つという点から、市体育協会へ事業を委託している。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	近隣他市町と比較して適切である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	大阪府主催の総合体育大会なので、市独自で休止・廃止することはできない。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	大会を通じて、市のスポーツ振興に貢献している。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	競技参加者は市代表で各種目に出場している点から、受益者負担の適正化余地は難しい。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	大阪府主催の大会で、各競技共、市町対抗戦になっているので、現状を変えることはできない。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 ↓ (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
イ	<p>↓</p> <p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—